

## 防犯設備士／防犯スーパーバイザー

ライフガード北陸 支店長  
防犯設備士 第05-11597号  
ガラス用建築フィルム施工技術士（国家資格）  
防犯フィルム施工技能者  
富山県認定防犯スーパーバイザー 高嶋 郁

富山県防犯設備協会事務局長をさせていただいております、ライフガード北陸の高嶋と申します。

株式会社村江工業の防犯事業部として、防犯フィルムをメインとした防犯用品・機器の施工・販売をしております。

防犯事業部として防犯フィルムを施工するにあたり、今まで全く縁のなかった「防犯」に深くかかわることになりました。防犯設備士の資格を取りました。

当時、県内の犯罪発生件数は14,206件と3年連続して減少していたものの、10年前に比べると約1.4倍になっており、多発傾向にありました。発生場所も駐車（輪）場や住宅など、私たちの身近な場所での犯罪が多数を占めており、平成16年8月に県が実施した県政世論調査においても、「犯罪対策など地域の安全の確保」が県政への要望の第2位となっていました。

富山県では安全で安心して暮らせる社会を実現するため、犯罪の起こりにくい環境づくりや、自主防犯団体と自主防災組織との連携を進め、県民総ぐるみで安全なまちづくりを推進していくこと、平成17年4月1日に「富山県安全なまちづくり条例」が施行されました。

とはいえる個人の防犯意識はまだ低く、侵入盗犯罪のうち、約7割は無施錠被害。鍵をかけていないばかりに被害にあう方が非常に多いのが現状でした。

鍵をかけない、防犯対策についての知識もないという状況をなんとかしたい、という思いから、富山県防犯協会や各地の防犯協会、警察署の生活安全課と連携し、防犯機器の展示をしながらの説明会や、防犯パトロールに任命された皆さんへの勉強会、地域の安全大会などの防犯講演など、積極的にボランティア活動をおこなってきました。



講演会でのガラス割り実演



警察署さんとの啓蒙活動 KEYレンジャーと



その講演を聴いてくださった方から、「今度地域の住民が集まる機会があるのでそこで話をしてほしい」「防犯の話をしても、自分たちの話をなかなか聞いてくれないのでお願いしたい」とのご依頼も増えました。聞いてくださった方々の防犯意識が高まるのがとても嬉しく、日曜日に皆さん草刈をした後に公民館で30分程度講演や、地域の行事があってみんな集まるときに、防犯機器の実演や侵入盗の現状を話すなど、どんな少人数の集まりでも顔をだし、鍵かけの必要性、自分でできる防犯対策、いろいろな防犯設備について説明させていただきました。こういった集まりでお話させていただくときは年配の方が多いので、富山弁丸出でリラックスして話せるので逆にいろんなお話を聞けたり、とても勉強になることが多い、土曜日、日曜日の早朝であったり、平日の夜であっても楽しんで講演活動をしています。

また、地元のケーブルテレビの「暮らしのほっと情報」というコーナーで防犯講座を年6回持たせていただき、自分でできる防犯対策についてお話させていただきました。これは1年間毎日放映されていました。

この活動のおかげで防犯対策に興味を持っていたり、対策するときの相談を受けたり、講演を聴いてくださった方からのご紹介もあり、少しずつではありますが仕事にもつながってきています。

自分で自分の身を守るという意識を持ってください、被害にあう方が少しでも少なくなるよう、今後もこの活動を続けていきます。

防犯対策をする上で、一番優先すべきところは窓です。防犯フィルムは、今ある窓に貼るだけで侵入に時間をかけさせ、あきらめさせます。窓の開け閉めのストレスもなく、見た目も変わらず、三角切り、焼き破り、打ち破りなどのガラスの対策にはとても有効です。

ただし、施工方法によって見た目や効果が変わってしまうのが問題です。

お客様が安心して防犯フィルムの施工を任せいただけるよう、ライフガード北陸では私も含め、社員全員

がフィルム施工の国家資格と防犯設備士を取得しました。私も普段はフィルム施工の現場にて、お客様とコミュニケーションをとりながら施工しています。

防犯設備士として、防犯フィルムだけでなく、防犯対策の合わせ技として補助錠や防犯カメラ等、防犯設備に関わること全てのご提案もさせていただき、より安心できる環境を作るお手伝いをさせていただいているます。

富山県防犯設備協会として富山県の皆さんの防犯意識向上と防犯対策についての知識取得のための講演活動を続け、防犯設備の施工現場から、適切なご提案、工事をさせていただき、一人でも多くの方に安心・安全な生活をおくっていただけるようこれからも精力的に活動していきます。



公民館での防犯講演



暮らしのほっと情報 防犯講座ケーブルテレビ